

顕微鏡用平面分光測定機 PSAM-700

顕微鏡用平面分光測定機は、イメージング分光器を顕微鏡に取り付けたもので、試料を1次元移動させることにより顕微鏡像のすべての点の分光スペクトルを即座に測定できます。標準の分光波長範囲は380～780nmですが、顕微鏡の仕様によっては～1700nmの近赤外も対応可能です。

<特長>

- ・イメージング分光器 ImSpector による線分光
- ・30秒間で顕微平面分光測定が可能
- ・スペクトル-RGB変換による画像表示と各点のスペクトル表示
- ・特定波長画像表示
- ・色彩計算機能(XYZ、RGB、L*a*b*、Lab、CMYK値)
- ・波長分解能：5nm(オプションで2nmまで可)



<仕様>

型式	PSAM-700
波長領域	380～780nm
分光方式	イメージング分光器 ImSpector による線分光
処理	・スペクトル-RGB変換によるカラー画像表示
	・各点のスペクトル表示
	・特定波長画像表示
	・色彩計算機能(XYZ、RGB、L*a*b*、Lab、CMYK値)
	・指定の基準点との色差表示、色差領域表示
測定時間	スキャン(計測)時間 0.1秒/1ライン
画像分解能	X軸方向：80μm/対物レンズ倍率(オプションで向上可)
	Y軸方向：顕微鏡視野/480 または顕微鏡分解能
波長分解能	5nm(オプションで向上可)
寸法	40×50×220mm(カメラおよび分光器部)

(用途に応じて、仕様変更対応しますのでご相談下さい。)